

三重県ふるさと応援寄附金

令和3年度にご寄附いただいた金額 17,863,795円

皆さまからいただいたご厚意は、県政の発展のため大切に使用させていただきました。心よりお礼申し上げます。今後も、三重県への応援をお願いいたします。

寄附金活用先事業の令和3年度実績



動物愛護の推進 5,511,500円

三重県動物愛護推進センター「あすまいる」を中心に、多くの方に「動物愛護の推進」に関心をもっていただくため、動物愛護に関する情報発信や犬猫の譲渡を行っています。その結果、多くの犬・猫の譲渡（犬108匹、猫273匹）につながり、殺処分数ゼロに向け前進することができました。



新型コロナ克服 みえ支え“愛”募金

2,099,417円

病院及び診療所に勤務する職員のための、保育施設の運営費にかかる補助事業に充当し、医療従事者が働きやすい環境の確保に活用しました。また、令和4年度以降、NPO法人や民間団体等の子どもの居場所運営団体が、子どもや子育て世帯に対する居場所づくりや、生活困窮となった世帯等に対する支援を継続して実施していけるよう補助を行うことで、県内で活動する子どもの居場所の運営を支援していく予定です。



とこわか募金(三重とこわか国体・三重とこわか大会基金)

1,236,000円

大規模大会での活躍が期待できる三重県選手の強化活動への支援やボランティア活動・県民運動等、三重とこわか国体・三重とこわか大会の開催経費の財源とする予定でしたが、両大会の中止に伴い、寄附金を目的どおり活用することができなくなりました。いただいた寄附金は、今後のスポーツ振興に活用するため、三重県体育スポーツ振興基金に積み立てました。



地域の道美化事業募金 1,012,000円

三重県が管理する道路の舗装修繕や除草などの維持管理業務に充当し、安全で快適な道路空間の確保に活用しました。（左の写真は、舗装修繕を実施したものです）



自立と社会参画の実現！特別支援教育の教材・教具の充実

110,000円

特別支援学校に在籍する児童生徒の学習活動の充実を図るため、教材・教具・参考図書を購入し、自立活動等の授業で活用することで、児童生徒の主体的な学習やコミュニケーション手段の広がりにつながる取組を行うことができました。



子どもの貧困対策の推進 91,000円

令和4年度以降、NPO法人や民間団体等の子どもの居場所運営団体が、子どもや子育て世帯に対する居場所づくりや、生活困窮となった世帯等に対する支援を継続して実施していけるよう補助を行うことで、県内で活動する子どもの居場所の運営を支援していく予定です。

寄附金活用先事業の令和3年度実績



バリアフリー観光(メルカリ寄付) 81,878円

日本一のバリアフリー観光推進県をめざすにあたり、水陸両用のレンタル車いすなどアクティビティに使える便利なツールの整備や旅行をサポートするガイドなどのお助けサービスの充実など、誰もが楽しみたいことを実現できる観光地づくりに役立つよう、令和3年度の寄附金全額を令和4年度以降活用予定です。



ビブリオバトル等の読書普及推進事業 75,000円

「中学生ビブリオバトル三重決戦2021」(バトラー8人 聴衆者44人 計52人)、「高校生ビブリオバトル三重決戦2021」(バトラー12人 聴衆者58人 計70人)を開催しました。



みえの子ども応援プロジェクト 70,000円

子どもから大人や友達などへ、大人から子どもへ「ありがとう」の気持ちを伝え合う機会を提供することで、お互いの信頼関係を構築し、家庭をはじめ学校や地域の中で子どもが安心して自分らしく育つことを期待して一行詩コンクールを実施し、9,565作品の応募をいただきました。



三重県の遺跡を通じて歴史に親しむ事業 66,000円

「まいぶん祭」において「火おこし」や「勾玉づくり」、「実物の土器にふれてみよう」、「なんでも実験考古学」において「古代の塩づくり」、「円筒埴輪をつくる」等を実施しました。これらのイベントにより、子どもから大人まで三重県の遺跡や出土品にふれ親しむことができました。



施工前

三重の川・海美化事業募金 62,000円

三重県が管理する河川の堆積土砂撤去業務に充当し、安全で快適な利用環境の確保に活用しました。(左の写真は、河川の堆積土砂撤去を実施したものです)

施工後



三重県総合博物館の企画展示等の充実 40,000円

2回の企画展(「やっぱり石が好き!三重の岩石鉱物」及び「寺院に伝わる戦国の残像」)を開催したほか、「伊賀焼と信楽焼」を始めとした三重の実物図鑑特集展示や、「身近な冬鳥を観察しよう」等のフィールドワークを実施し、三重の自然や歴史にふれ、学び、交流する場を提供しました。

寄附金活用先事業の令和3年度実績



文化財保存・継承・活用事業 33,000円

三重県内にある指定等文化財および埋蔵文化財の保存・巡視業務に充当し、文化財の修復等保存につながる取組に活用しました。



次代を担うひとづくりのための図書館の充実 20,000円

三重県立図書館では、次代を担う子どもたちへの読書活動推進支援の観点から、館内に児童コーナーを設置するとともに児童資料等の収集に力を入れています。今回、児童書等の購入費に活用し、児童コーナーをはじめとした図書館資料のさらなる充実をはかりました。



災害時のボランティア活動への支援 12,000円

県内外の大規模災害発生時に備え、早期に復旧復興を実現するためにNPO等が行う継続的な被災地・被災者支援活動の財源として、「三重県災害ボランティア支援及び特定非営利活動促進基金」へ積み立てています。



性暴力被害者支援の充実 9,000円

誰にも相談できずにひとりで悩んでいる性犯罪・性暴力被害者が、安心して相談することができ、適切な支援を受けられるよう、性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター「みえ性暴力被害者支援センター よりこ」の周知に活用しました。

自由記入欄等で使い道のご指定をいただいた寄附 850,000円

- ・子ども心身発達医療センター 小児整形部門での活用 300,000円
- ・救急の現場希望 300,000円
- ・柑橘農業の振興（令和5年全国みかん研究大会への支援） 200,000円
- ・三重県立上野高等学校の教材・教具の充実 20,000円
- ・森林保全 20,000円
- ・若手スポーツ選手の育成 10,000円

使途のご指定のない寄附 100,000円

令和3年度クラウドファンディング活用事業の実績

特定のプロジェクトを実施するために、期間を定めて寄附の募集を行った事業です。

耳先カットは“手術済み”の目印です



飼い主のいない猫たちへの手術と育成サポート 3,005,000円 (令和3年7月1日～令和3年10月31日)

殺処分数の多くを占める飼い主のいない猫を減らす取組として、飼い主のいない猫の繁殖を防ぐため、捕獲し、不妊・去勢手術をして元の地域に戻す活動を実施しています。令和3年度は、783匹の猫に不妊・去勢手術を行うことができました。また、子猫育成サポーターを募集し、登録していただいた9名の方に譲渡可能な大きさになるまで家庭で育成していただき、57匹の子猫を譲渡につなげました。



身体障害者補助犬の貸与(育成)・啓発 1,536,000円 (令和3年12月10日～令和4年3月31日)

県内の視覚障がい者に貸与するため、盲導犬1頭の育成を行いました。また、身体障がい者補助犬の普及啓発イベント等で配布する啓発用ポケットティッシュを購入しました。

友好のカヌー修繕プロジェクト(パラオ共和国との友好提携25周年) 1,283,000円

(令和3年4月16日～令和3年8月31日)



平成8年に当時のパラオ共和国大統領より寄贈されたカヌーについて、専門家に意見を伺い、修繕方法の検討・確認を行いました。令和4年度は修繕を行い、県立水産高校での実習や姉妹提携先のパラオ高校との交流に活用するなど、三重県とパラオ共和国の交流をさらに深めるために活用していきます。

ヘルプマークでつながるおもいやりの絆づくり 313,000円 (令和3年5月26日～令和4年3月31日)



ヘルプマーク普及のため、クラウドファンディングによる寄附金募集を実施し、ヘルプマーク(ストラップ)等の作成費用(2,470枚分)に充てさせていただきました。ヘルプマークを必要とする方々に配布することで、「ヘルプマークでつながる思いやりの絆づくり」の推進に取り組みました。(左の写真はヘルプマーク(ストラップ)及びヘルプカードです。)

高校生が行く! 農業GAPキャラバン隊 248,000円 (令和3年6月25日～令和3年8月31日)



将来、農業従事者として活躍する意欲の醸成等を図るため、県立5校の農業を学ぶ高校生が、GAPキャラバン隊を結成し、県内3か所で、GAP学習の活動報告を行うとともに、農業従事者や会場来場者と意見交流を行いました。